



彦まちだより

第10号

2022年4月発行

彦島地区まちづくり協議会

彦島地区まちづくり協議会 広報誌

検索



彦島地区
まちづくり協議会
会長 酒井 能具

会長挨拶

この一年は、コロナ禍のため活動を自粛することも多くありましたが、今後の進む方向を考える機会でもありました。即ち、創立以来の部会制では、活動がマンネリ化しやすいという課題がありました。対策として、参加目的が分かりやすいよう、活動するプロジェクト内容を掲げた事業部制を一部事業で試行を始めました。より多くの人材が集まることが期待できますので、総会でご承認いただいたのち、新年度から他の分野にも拡大予定です。委員は苦手だがサポーター的な活動なら参加するのだがという方にも参加頂こうと考えています。

彦島歴史文化の会—事業開始について

彦島の歴史・文化遺産を青少年や地域住民に伝える活動を始めました。青少年が、彦島を好きになり、この町を誇りに思い、この町に住み続けてくれる効果を期待します。歴史好き・文化好きの方、事務局まで連絡願います。第一報として、弟子待町住民の方の地域の紹介記事(省報)を掲載します。

Vol.1

弟子待から見える直近の島 巖流島(船島)編

現在の巖流島は「決闘の島」として全国一知名度の高い島ですが、決闘時は豊前小倉細川藩の所領で藩では塩浜、田の首地域を彦島、その向こうにある巖流島を「向島」と呼んでいました。他方、長府毛利藩では巖流島の形から引島の「舟島」と呼んでいました。そしてこの引島、彦島の並存時期を下関市史では「二島時代」と称しています。

巖流島へは、市内唐戸棧橋と、JR門司港駅近くの門司港棧橋(門司レトロ内棧橋とは別の棧橋)から、定期渡船が運航されています。観光協会では「全島禁煙」「ゴミはお持帰りを」呼びかけています。毎年4月中旬に舟島神社例大祭神事が行なわれ、1910年建立「佐々木巖流碑」前での武道競技会が盛んに開かれていた時期もありました。明治期には所有者が転々と変わり1914年(大正3)三菱造船所が開業して島周囲を浚渫して65,000㎡を造成。現在では市有地38,000㎡と合わせると元々の舟島の約6倍の広さとなり、決闘に纏わるモニュメントも整備がすすみ楽しく過ごせる下関を代表する観光地となっています。



弟子待上空から見た1998年頃の巖流島。その後石油会社の撤退でタンクや揚油棧橋は撤去され現在はありません。古老たちは流れに乗って島へは自在に泳ぎ渡っていたそうです。島には海峡一の難所「与次兵衛ヶ瀬」から移設されていた灯標が見えますが、2003年現役を引退しました。巖流島の住所は下関市大字彦島字船島648番地で弟子待ではありません。



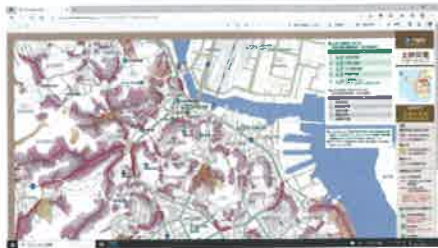
舟島神社(巖流島)
台風被害を修復する工事が
4月から始まりました

総務・安全部

コロナ禍で思ったような活動を行うことが出来ませんでした。歩みを止めることなく活動を実施しました。

彦島地区まちづくり協議会のホームページに【防災情報】を追加して、ハザードマップや避難所情報を簡単に確認できるようにしました。

12月4日に弟子待町公会堂で【救命救急講習会】を実施しました。下関西消防署の講師をお迎えして、心肺蘇生法やAEDの使用について実地研修を行いました。



ホームページのハザードマップ



弟子待町救命救急講習会



令和4年度は、自治会単位での【救命救急講習会】の実施や【交通安全】に関する活動も行う予定です。また、新たに【環境整備活動】も今年度から実施しますので、一緒に活動する仲間を募集します。具体的な内容は、チラシやホームページでお知らせしますので、たくさんのご参加をお待ちしております！

健康福祉部

コロナ禍で大人数での活動を行うことが出来ませんでしたので、各地域単位で福祉講座やサロン活動などを実施しました。



角倉町元気っちゃサロン



向井町一丁目創作品展示会



塩浜町健康福祉講座



弟子待町健康福祉講座



各地区のスポーツ大会でそれぞれ元気に楽しく、体を動かしました。



西山 トリコロキューブ大会



迫地区 ウォーキングラリー



第1連合グラウンドゴルフ大会



子ども部



あいさつを交わすことから生まれる人と人との絆を通じて、誰もが人にやさしい心で相互に思いやることにより、彦島が明るく住みやすいまちになります。その基礎となる共生と共助の意識を培うことを目標に『あいさつ運動』を推進しています。



令和4年度のあいさつ標語として、約500作品の中から各校の優秀作品を決定いたしました。

例年優秀作品を「彦まちフェスタ」で表彰していますが、本年度は新型コロナウイルスの影響で学校関係者が各家庭を訪問し、表彰いたしました。



六連島部

【六連島海岸清掃&竹の伐採作業実施】

六連島は人口減少に高齢化が進み大変な状況下の為、国の指定文化財に指定された灯台の周辺に繁茂した草竹の伐採や海岸に流れ着いたプラスチックごみや空き缶の回収作業に彦島地区から28名が参加し清掃活動を実施しました。当日はNHKをはじめ地元テレビ局が3局、新聞2社が取材し、清掃模様が夕方のニュースでなされました。



【島外交流活動】

国の重要文化財に指定された六連島灯台を活用し、4月3日に桜とコラボレーションした野外コンサートを開催しました。

「さくらさくら」や「ウクライナ国歌」などの歌声が響きわたりました。



玄洋中学校・彦島中学校の演奏会&作品展示会を開催しました



コロナ禍で発表の場が失われた吹奏楽部、美術部の活動を保護者や地域の方々
に披露する場を設けました。当日は感染対策を行い、参加した生徒さんや保護者の
方々は素晴らしい演奏や展示作品に満足しておられました。



「しもまちスタンプラリー2021」大好評で無事終了 (8月1日~11月末まで実施)



彦島地区のラリーポイントは5箇所(西楽寺、彦島八幡宮、西福寺、弟子待大師堂、
田の首八幡宮)を設定しました。大師堂の展望台に初めて訪れた人は、巖流島が眼下
に見える絶景にびっくりしていました。

彦島に何十年も住んでいるのに立派な神社やお寺があり、改めて彦島の良さを知りました。また、普段行かない地区を回ることができ良い機会となりました。など多くの感想が寄せられました。

尚、スタンプラリーのポイント箇所にご協力頂きました皆様、ありがとうございました。



しもまちスタンプラリーは あなたもチャレンジしてみませんか?
2022年も開催予定です!! 期間:2022年7月下旬~10月末(予定)

※スタンプラリーに参加するには、スマートフォンが必要になります。(開始前にはスマホ教室を実施する予定です。)

—— 新年度の会員を募集! ——

彦島地区まちづくり協議会は、平成28年7月21日発足以来、住み良いまちづくり実現に向け、彦島地区が一体となって取り組む活動をはじめました。今後も協議会の活動を「活力ある温かいまちづくり」へとつなげ、地域活性化を目的とし、活動したいと思います。自分の得意分野を活かしてみたい、少しでも地域の役に立ちたいと思われる方、是非参加してみませんか、お待ちしております。(若者大歓迎です)



◇応募方法 下記事務局まで電話、又はご来所下さい。

まちづくりへの参加希望等、お問い合わせは下記に連絡願います。

〒750-0075 下関市彦島江の浦町1-3-1 彦島公民館5階

彦島地区まちづくり協議会 事務局:小田、中原

・電話:083-250-9117 FAX:083-250-9118

・受付日時:火~木曜日10時~14時

